

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

2 自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	感情的になって教職員や周囲の友だちに対して粗暴な言動をする事案があったため、当該児童および保護者間で十分話し合い、解決を図ることができた。現在は落ち着きつつあり、引き続き、教職員全体で組織的に対応する。
②いじめの状況等	学校全体でいじめの未然防止と早期発見、早期対応に取り組んでいる。認知したいじめについては、ていねいに話を聞き取り、解決に向けて取り組んだ結果、解消している。困った時は、すぐに相談するように指導しており、今後も話しやすい学級の雰囲気を大切にして指導を継続していく。
③小・中学校における不登校の状況等	学級担任を中心に、本人や保護者への働きかけやSSW、関係諸機関と連携して登校支援を進めてきた結果、再登校に向けて進んでいる。